



# 登録医ニュース

## 絆 きずな

登録医療機関（令和6年7月現在）

174施設 200名の先生方にご登録いただいております。



### [ 病 院 の 理 念 ]

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

### [ 病 院 の 基 本 方 針 ]

1. 急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために、適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。
2. 地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。
3. 個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。
4. 全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。

## 当院での糖尿病診療と教育入院について

内科部長 原 右

連携医療機関の先生方におかれましては日頃より JCHO 仙台南病院での診療にご理解とご協力をいただき御礼を申し上げます。

私が当院に着任してから早いもので15年になります。こうして続けられているのも、皆様より数々のご紹介をいただいているおかげと感謝しております。

今回はこの場をお借りしまして、当院で行っている糖尿病診療について簡単にご紹介申し上げます。

### 糖尿病新患外来

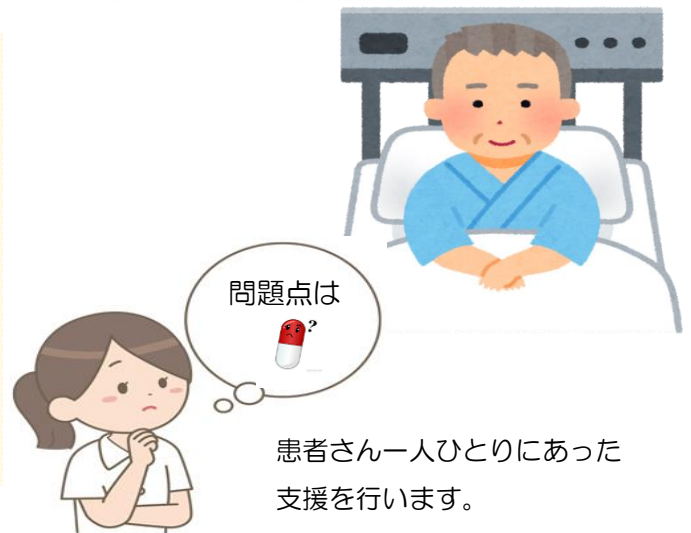
糖尿病の血糖コントロールの悪化を主訴に当科紹介を頂きました際には、はじめに肺癌をはじめとした胸腹腔内腫瘍性病変の検索と糖尿病長期合併症の検索を行います。高齢の患者さんほど悪性腫瘍が血糖悪化の原因となることが多く、最初が肝心でありますので胸腹部造影 CT・レントゲン写真・腹部超音波検査、ECG・心臓超音波検査・眼底写真などの検査を一気に行ってしまいます。病歴や家族歴・生活習慣の問診も多く、診察・検査に一日がかりになってしまいます。火曜金曜の定期外来日に受診いただきますと他の患者さんに挟まれ、長い待ち時間が出てしまうことがあります。患者さんのためにもあらかじめ紹介する旨を地域医療連携室に連絡、診療情報提供書の FAX をいただき、受診日・時間の調整をさせていただければ幸いです。



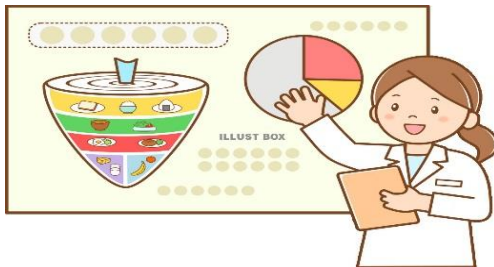
## 糖尿病教育入院

腫瘍性病変のスクリーニングを済ませたら安心して血糖コントロールに取り組むことになります。高血糖の患者さんの1/3は栄養指導のみで血糖コントロールが改善しています。

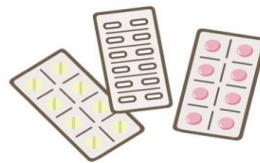
1回の指導だけではすぐに元に戻ってしまうので繰り返す必要があるのと、治療方針の決定のために糖尿病教育入院を強くおすすめしています。



## 集団指導



2週間の教育プログラムを入院パスにのせて医師のほか管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士から糖尿病の原因、治療の種類と原理、血糖の自己管理、注意すべき合併症の知識、栄養・運動療法のやり方と注意点をテキストやDVDを用いて繰り返し指導していきます。聞いても忘れるのが当たり前ですので、何度でも繰り返して体に馴染ませていくのがモットーです。



## 個別指導

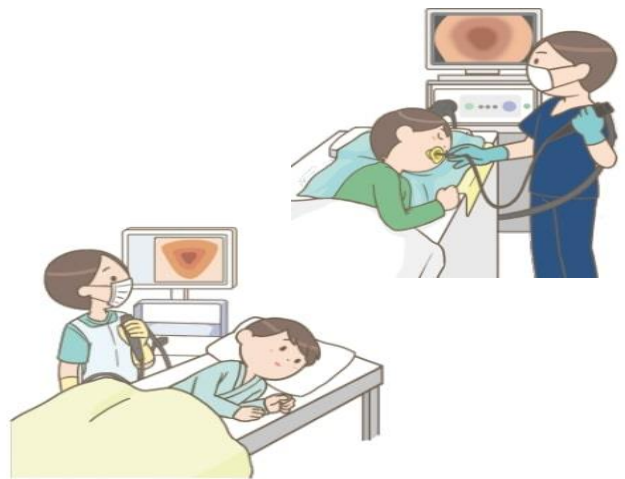
栄養療法および服薬・注射療法において患者さんの個別の問題点や注意事項を指摘します。

患者さんの受け入れや反応をスタッフ間で情報共有し、治療法の加減変更を行います。



## 精密検査

24時間蓄尿が必要なインスリン分泌能測定・血糖日内変動・24hCcr・神経伝導速度・動脈波など入院でなければできない検査を行い、治療方針を決定します。方針変更を要するケースは少ないのですがインスリン導入の判断に必要です。また上下部消化管内視鏡検査もこの入院時に行っています。



## 自己管理スキルの向上



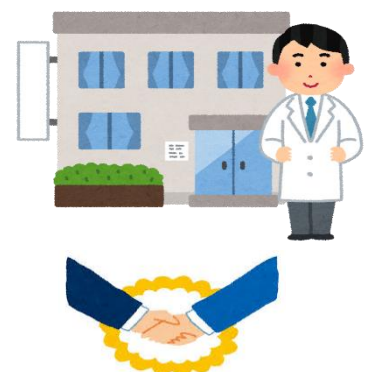
入院中の計算された食事を実際に食べてもらうことでカロリー計算や糖質・塩分に対する認識を改め、食後の運動の効果とそれを継続することで食事前後の空腹感や満腹の感覚が変わってくることを体験していただきます。血糖値を自己で測定してもらい、食事や薬の効果を確認することで薬の内服を忘れないための助言を行い血糖管理に対する意欲の向上を図っています。

## 退院後の follow up



一回の入院だけですべてが好転するわけではありませんが、糖尿病に対する意識が変わる効果は大きいと考えています。長年やってきて感じるのは、繰り返し何回も指導することの必要性和その効果です。退院後は紹介元の医院で治療を継続していただくこととなりますが、当院外来での栄養指導（数回程度）と半年ごとの腹部超音波検査・内視鏡検査・合併症検査の継続をおすすめしています。当院自慢の信頼できる検査技師が待機しておりますので通常診療以外の検査を行うための機会として利用していただければ幸いです。

糖尿病とのつきあいは本当に長くなりますし、数多くの他の病気の発生が伴います。その長いつきあいの中で、先生方と当方の診療の難しい部分を補完し合いながら気楽に連絡の取り合える病診連携関係を築いていけるよう努力して参りたいと思います。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



要Check!

## 糖尿病患者様のご紹介について



いつも当院へご紹介いただきまして、ありがとうございます。  
糖尿病(教育入院要)の患者様のご紹介につきましては事前に地域医療連携室へ診療情報提供書のFAXをお願いいたします。



通常の外来ではなく、水曜日での受診調整をさせていただきます。  
(通常の外来よりスムーズです)

ご紹介・ご予約は、地域医療連携室(直通:022-306-1740)でお受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

## その他 診療科のご案内

※全ての診療科 午前診療

### 内科・循環器科・外科

曜日：月～金 新患受付 11:00 まで

上記以外、緊急の場合は地域医療連携室へご連絡・ご相談ください

### 呼吸器内科 (非常勤医師)

入院・緊急患者受入れ不可

曜日：金 新患受付 9:30 まで

受診予約のご相談は地域医療連携室へ診療情報提供書のFAXをお願いします

### 泌尿器科 (火曜日 休診)

曜日：月・(水)・(木)・金  
水 手術日・木 制限あり

上記以外、緊急の場合は地域医療連携室へご連絡・ご相談ください

### 整形外科 (要ご相談)

曜日：月・火・水・金

受診予約のご相談は地域医療連携室へ診療情報提供書のFAXをお願いします

## NST 勉強会開催のお知らせ



当院では年4回、NST 勉強会を開催しております。

次回：9月13日(金) 17:30 から

「実臨床での肝疾患診療における栄養について」

当院医師:長崎太

※別紙、申込み用紙にてお申込みください

ご不明な点は地域医療連携室へお問い合わせください



発行 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院

仙台市太白区中田町字前沖 143 番 代表TEL022-306-1711・FAX022-306-1712

地域医療連携室 直通TEL022-306-1740・FAX022-306-1741